老朽原発うごかすな！リレーデモ ニュース

第10号

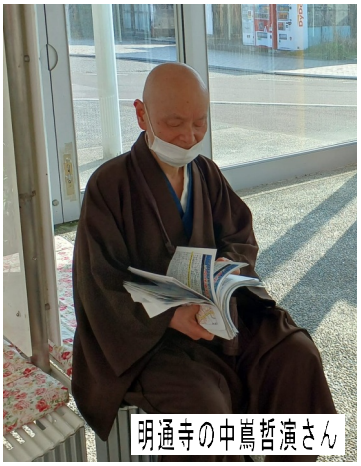
発行・老朽原発うごかすな！実行委員会
［連絡先］
090-1965-7102

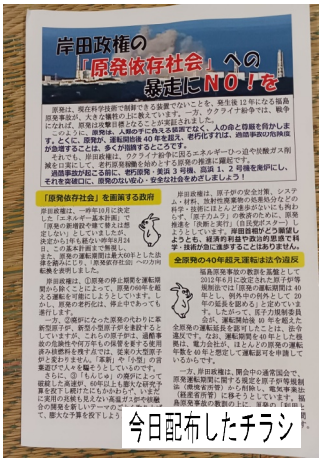
リレーデモ９日目　滋賀の新旭から福井の東小浜
ビラ配りに専念　動くと思いのほかの暑さ

ＪＲ東小浜駅

午前中は滋賀県のJR新旭駅周辺、午後は福井県のJR東小浜駅周辺でビラ配りに専念しました。13人余りが参加して、8人が福井の熊川宿に泊めていただきました。

東小浜でビラ配りの打ち合わせ


明通寺の中嶌哲演さん


岸田政権の
「原発依存社会」への
暴走にNO！を

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年になる福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。
にだけは、絶対近寄せてはならないものです。
ひとたび、原発は、人命の手に負えるものでなく、人の命と母胎を傷かしまうことを、原発が、運転期間を40年を超え、老朽化すれば、絶対事故の危険性があります。とくに、原発が、運転期間を40年を超え、老朽化すれば、絶対事故の危険性があります。とくに、原発が、運転期間を40年を超え、老朽化すれば、絶対事故の危険性があります。とくに、原発が、運転期間を40年を超え、老朽化すれば、絶対事故の危険性があります。とくに、原発が、運転期間を40年を超え、老朽化すれば、絶対事故の危険性があります。
が故障することは、多くが指摘するところです。
それでも、岸田政権は、ウクライナ紛争に乗じるエネルギーひっ迫や民間ガス開発を口実にして、老朽原発稼働を始めようとする原発の推進に躍起です。
過酷事故が起こる前に、老朽原発・美浜３号機、高浜１、２号機を廃炉にし、それを実現に、原発のない安心・安全な社会をめざしましょう！

「原発依存社会」を画策する政府

岸田政権は、一昨年10月に決定した「エネルギー基本計画」で「原発の新規建や建て替えは想定しない」としていましたが、決定から1年も経たない昨年8月24日、この基本計画を一方的に、また、原発の運転期間は最大60年とした法律を盾のように、「老朽原発依存社会」への方向転換を表明しました。

岸田政権は、①原発の停止期間を運転期間から除くことによって、原発の40年を超える運転を可能にしようとしています。しかし、原発の老朽化は、停止中でもいつも進行します。
一方、②廃炉になった原発のたちりに革新型原子炉、新型小型原子炉を建設するとしていますが、これらの原子炉は、過酷事故の危険性や核ごみの保管を考える使用済み燃料を使うとは、従来の大型原子炉と変わりません。「革新」や「小型」の言葉遣いで人々を騙そうとしているのです。
さらに、③「もんじゅ」の廃炉によって、膨大な高速炉、60年以上も費やした研究予算を捨てる結びたこもちがわかっていまし、実用の見通しも見えない高温ガス炉や核融合の開発を新しいテーマのこ
で、膨大な予算を投下しようとしています。

「原発依存社会」への暴走にNO！を

全原発の40年超え運転は法令違反

福島原発事故の教訓を基盤として2012年6月に改定された原子炉等規制法では「原発の運転期間は40年とし、例外中の例外として20年の延長を認める」と定めています。したがって、原子力規制委員会が、運転開始後40年を超えた全原発の運転延長を認可したことは、法令違反です。なお、運転期間を40年とした根拠は、電力会社が、ほとんどの原発の運転年数を40年と想定して運転延可を申請していたからです。
一方、岸田政権は、開会中の通常国会で、原発運転期間に関する規定を原子炉等規制法（略称原子炉）から削除し、電気事業法（経産省所管）に移そうとしています。福島原発事故の教訓のうちに、深刻の「福島

今日配布したチラシ

昼からの行動には、明通寺の中島哲演さんが参加してくださり、チラシ配布をご一緒してくれました。また、緑のゼッケンに笑顔で返してくれる方。また、チラシを受け取りに来られたり、「そうだ」といろいろな反応をいただきました。民意は「老朽原発うごかすな！」であることを改めて感じることができました。

四国で伊方原発に反対しておられるＩさんから、大量の魚が一部は料理されて、宿まで直接送っていただき、この日の報告などをしながら、美味しくいただきました。

今日の予定

１０：００　ＪＲ小浜駅 出発（市内デモ）
１４：００　ＪＲ若狭本郷駅 出発（町内デモ）
　　ＪＲ若狭本郷駅までデモ